

松江市以外の区域での初めての新型コロナウイルス感染症患者の発生 について

本日、4月25日、県内で17例目となります新型コロナウイルス感染症患者が確認されました。島根県が管轄している区域、つまり松江市以外の区域では、初めての確認となります。

患者さんのお住まいの地域を管轄する出雲保健所では、感染拡大を防止するため、本日から、行動履歴や濃厚接触者についての調査を行っています。明日からは、調査体制を強化するために、まず、出雲保健所に、職員2人を派遣し、その後、順次体制を強化していく考えです。

この患者さんの確認に関連して、2点の事項を申し上げます。

1点目は、濃厚接触者の再調査についてです。今回の患者さんは、14例目の患者さん、16例目の患者さんの濃厚接触者にあたる方ですが、既に行われた14例目と16例目の調査では、濃厚接触者であるという確認がされていませんでした。

県としては、14例目と16例目を担当されました松江市に対して、こういった状況であるので、既に判明している1例目から16例目までのすべて

の感染者に対して、これまで申告された濃厚接触者に漏れがないか、再度確認をしてもらおうよう要請をしたところです。

関連する事項2点目は、濃厚接触者の方々に対する自宅待機の徹底についてです。

今回の患者さんと14例目、16例目の患者さんは、いずれも最終の接触から14日間の自宅待機を要請していましたが、この自宅待機を要請している期間中の、今月14日に今回の患者さんと接触されています。

改めて、これまで判明した松江市在住の濃厚接触者に対して、自宅待機の徹底を求めてもらうよう松江市に要請をしました。松江市以外の濃厚接触者も一部におられますので、県としても当然同じ対応をしていく考えです。

そして、県民の皆様には、今回、松江市以外で患者が初めて判明したこと、また、濃厚接触者の把握に漏れがあったこと、そして濃厚接触者の方々の自宅待機が一部徹底されていなかったことで、大変不安に思われることかと思っております。

まずは、行政側の対応の改善を徹底していく考えです。そして、今の感染状況については、この松江市以外、出雲市まで広がっている状況では

ありますが、大都市で生じております、感染経路不明な患者やクラスターが数多く発生している状況とは、県内の状況は異なっている状況です。今回判明した患者さんも、これまで県内で判明している患者さんと同じく一つのクラスター、松江市内のクラスターに関連した方です。

県民の皆様には患者さんの判明した地域の広がりや、患者さんの数の増え方といった事に加えて、感染経路がはっきりしているかどうかといった点にも注目していただき、今後の状況の推移を見守っていただきたいと思います。

県としては、松江市、出雲市と連携して、感染拡大防止に向けて全力で取り組んでいく考えであります。